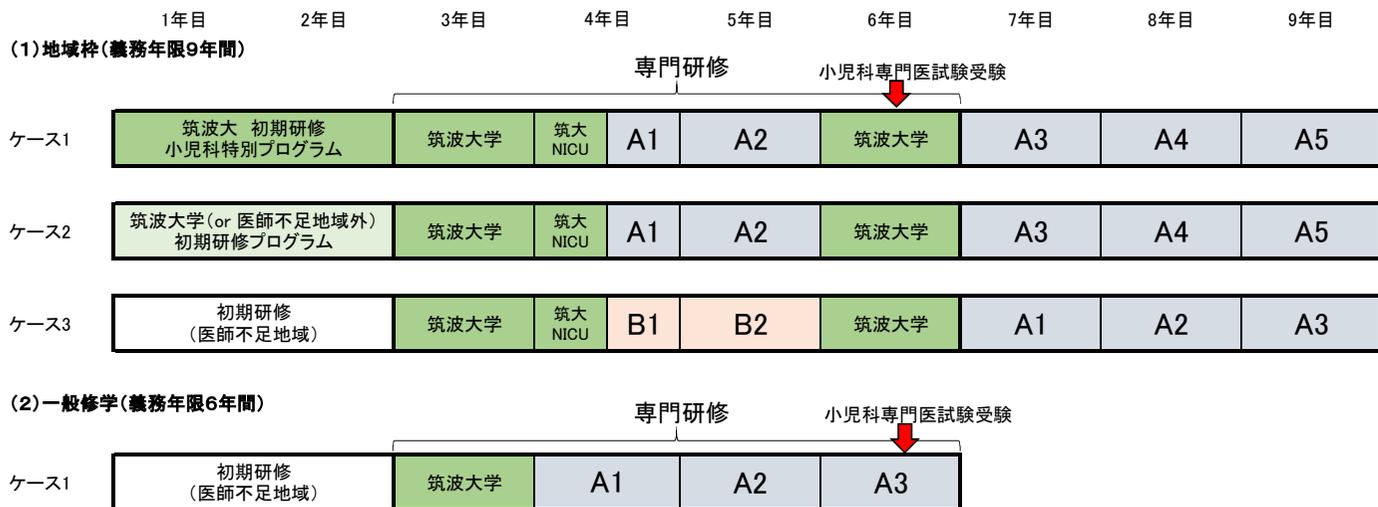


筑波大学附属病院 小児科専門研修プログラム(修学生医師)

<特徴>

- 1) 地域枠、一般修学資金ともに、原則的に筑波大学・小児科専門医プログラムを選択します。
- 2) 専門研修では新専門医制度基幹施設(筑波大学附属病院)の指定した連携施設または関連施設(A, B病院)で研修します。
これらの病院は全て茨城県地域医療対策協議会で策定された周産期医療体制を構成する施設およびその後方支援施設です。
- 3) NICU(新生児集中治療室)は、6か月間の研修とし、筑波大学あるいは茨城県立こども病院で行います。
- 4) 専門研修の4年目(もしくは3年目)は、原則として筑波大学附属病院でチーフレジデントとして下級研修医の指導にあたる予定です。
- 5) 希望に応じて大学院進学、留学などの期間を設けることが可能です(猶予期間)。



【小児科専門研修研修病院群】

A病院(医師不足地域病院): 茨城県立こども病院、茨城西南医療センター病院、茨城県西部メディカルセンター、日立総合病院、ひたちなか総合病院、茨城福祉医療センター、総合守谷第一病院、龍ヶ崎済生会病院
※ 7~9年目では、常陸大宮済生会病院も含まれます。

B病院(医師不足地域外病院): 筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院

【特色】高度先進医療から小児科基礎知識まですべて習得!

- ・筑波大学の小児科研修プログラムは4年間です: 論文作成から専門医受験の年まで指導体制がしっかりとしています。
- ・初期研修の小児科特別プログラム(2~4枠/年)では、初期から小児科に特化した研修を行うことが可能で、あなたのキャリアを早期からサポートします。